

白岡市議会議員

渡辺そういちろう
市政通信 Vol.8



12月議会
定例会

12月議会が閉会。今回は医療・健康づくりの政策と子育て支援について一般質問しました。

白岡市でも医療環境を充実していくと共に、「病気になる体を作る」ための予防医学の取り組みが必要です。

白岡で始まる医療・健康づくりの新たな取り組み



・子ども医療費の助成制度が拡大します

今年から子ども医療費の支給対象が18歳まで拡大します。

・食育の取り組み「食育推進計画」が始まります

健康レシピの開発や地産地消の推進など健康な食生活を送るための計画を策定中です。



・セルフメディケーション税制が開始します

全国で始まる新たな医療控除制度です。薬局などで対象の薬を12000円以上購入すると、所得から控除されます。(条件有)



セルフメディケーション
税 控除 対象

一般質問 ー健康増進のまちづくりについてー

Q 近年「スマートウェルネスシティ」の取り組みが注目されている。医療費抑制の観点からも、予防医学の施策に力を入れていくべきと考える。客観的な医療データに基づいた政策や、健康無関心層に健康づくりを促す健康マイレージ制度など先進的な取り組みを進めてはどうか？

A 全庁的な取り組みで、市民の健康づくりに努めていきたいと考えている。今後はデータ分析に基づき、効果的な事業を実施していくために、「白岡市データヘルス計画」を進めていく。また健康マイレージ制度にも取り組んでいきたいと考えている。

※スマートウェルネスシティとは住んでいるだけで健康になれるまちづくりの取り組み



渡辺 聡一郎 議員

※健康マイレージとは健康イベント等に参加するとポイントがたまり市内の商店街の割引券等の特典を受けられる制度



歩きたくなる
まちづくりを！

Q 健康増進には日常の運動量を底上げする環境が必要だ。歩行者や自転車の目線に立った都市整備や、緑豊かな街を楽しく歩ける景観づくりを行い、歩きたくなるまちづくりを進めてはどうか？

A 国の方針でも、車に頼らず、歩いて暮らせるまちづくりを目指すものも多く見られるようになってきた。今後のまちづくりにおいては、広い歩道の確保や歩道の段差の解消などを行い、誰もが歩きたくなり、安心・安全に暮らせる都市整備を目指したい。



一般質問 —子育て支援について—

Q 市の公式の待機児童数は 18 人となっているが、その裏に何倍もの潜在的待機児童がいる。**潜在的な保育ニーズを把握すべきでは？**



A 潜在的な待機児童数の把握は極めて難しいが、**実際に保育所に入所できなかった方の人数をもとに保育所整備を計画していく。**



Q **空き家を活用した小規模保育や一時保育を実施し、従来の保育所を補完する形で保育サービスの充実を図れないか？また預けられた子供たちにより良い育ちの環境が用意される必要がある。保育の量と質を向上していく取り組みは？**

A 待機児童対策として**西地区に新しい保育所を開設する予定**。また空き家を活用した保育サービスは非常に有効と考えるため調査検討する。保育の質については**国の基準より手厚く保育士を配置し、一人ひとりの職員の資質向上のための研修を充実させている。**

白岡駅周辺のまちづくりについて

【東口】 東口の道路整備が進んでいます。駅前から東北自動車道を超えて市役所まで抜ける道ができれば東口の利便性は格段に向上します。



【西口】 西口は駅前再整備に向けて土地買収は少しずつ進んでいます。スケジュールやビジョンが見えてきません。今年の議会では積極的に駅前再整備の問題について取り上げていきます。



音楽で地域おこし



総務委員会で議論



市政通信は一枚一枚お配りしています

ふるさと納税が好調！

白岡市のふるさと納税が好調です。寄付総額は7千万を超え県内上位の寄付数。全国から納税が集まっています。返礼品も大好評のようです。

▼白岡の人気返礼品ランキング (2016年4~12月)

第1位は観葉植物

第2位は梨



【渡辺そういちろうPROFILE】

衆議院議員平沢勝栄の公設秘書として政治活動に参加後、2015年春より白岡市議会議員として活動。総務常任委員会所属。「渡辺そういちろう 白岡」にて是非ご検索ください！
Tel:090-7197-6173 Web:http://www.so-wat.net

子育て支援や健康増進施策にさらなる充実が求められますが、財政と社会保障のバランスを図ることも大きな課題です。白岡のこれからのまちづくりについて、是非、お気軽にご質問・ご意見をお寄せください！

To Be Continued...